

ウチカビ

ウチカビは、5枚でワンセットになっています。これを昔のお金の単位で表すと5万貫文くわんもんになるそうです。ん〜、意味わからないね。

この間も、高校の授業で

このウチカビの話をしたとき、「意味わからん。ウチカビって…ハウマツチ？何円？」と生徒のみんなから聞かれたものだから、この際、思い切って今の時代のお金ではいくらなのか

祖先へお供えする「お金」

2億円。5枚セットだから、2億円×5枚=10億円。スゴイ…ジュウオクエン？沖繩では、ウチカビをお供えするとき、3万貫文か5万貫文の場合が多いので、6億円や10億円をお仏壇とかお墓にお供えしていたんだね。

ハイサイ！ 沖繩の旧盆は終わったけれど、本土の多くの地域では、月遅れのお盆が始まっています。

今回は、沖繩のお仏壇やお墓での必需品「ウチカビ」についてお話したいと思います。ウチカビは、とてもきれいな黄色をしている紙です。おじいちゃんやおばあちゃんのお話によると、このウチカビは、亡くなられた方々のお金のように、沖繩だけでなく、中国や台湾とかでもとても大切にされているようです。



1と調べちゃいました。さてさて、5万貫文ってハウマツチ？ ワラビーっ子のみんなも、一緒に計算してみてね。

一文いちもんという昔のお金は、江戸時代後期の貨幣価値から考えると、約20円にあたるそうです。

一文が1000枚集まると一貫文だから、一貫文は20円×1000=2万円。一貫文が1万本集まると、ウチカビ1枚の一万貫文になるので、2万円×1万本

たまにウチカビを、「亡くなったおじいさんの居酒屋代」と言ってお供えするおばあちゃんがいるけど、数十億円もプレゼントされたおじいさんは、居酒屋で一体どんなメニューを注文するのか、ちよっぴりおじいさんに聞いてみたいような気がします。

(帰依龍照 球陽寺住職、タイムスカルチャーセンター「基礎から学ぶ沖繩の年中行事」講師)